

## 共感覚セラピー等における 性被害、洗脳、マインドコントロール問題について

### ▲必読▲

共感覚セラピー等における性被害、洗脳、マインドコントロール問題は、女現研が最も迅速に対応可能な分野の一つです。未然の性被害防止の件数も最多となっております。

「共感覚セラピー」、「共感覚ヒーリング」、「共感覚カウンセリング」、「共感覚エステ」、「共感覚シンクロニシティ」などの施術名称を使用し、共感覚による施術や共感覚の伝授などを謳って（共感覚を有するかのように装って）共感覚ビジネスを展開している団体や個人（ほとんどがセラピスト、スピリチュアリスト、カウンセラー、エステティシャンなどの女性組織）の少なくとも4割が、主に性産業・性団体コホートにて解説している宗教団体、ニューエイジ思想団体、超常現象信仰団体、極左共産主義団体、極右思想団体（ヤマギシ会、摂理、ラエリアン・ムーブメント、類グループ、サイエントロジー、幸福の科学など）、詐欺・靈感商法・ぼったくり集団、違法薬物使用集団、性行為集団、（準）強制的性交・（準）強制わいせつ等実行集団、違法アダルトビデオメーカーやその出演への勧誘団体、売春斡旋業者、児童ポルノ製造・販売業者等（教祖、経営者などトップのほとんどは男性で、気功師、医師、教員なども含まれる）のフロントサークル、またはそれらのフロント女性（広告塔）のいずれかです。

実際は性行為の実施やオーガズムの伝授であるものを「共感覚セラピー」などと偽って女性客（被害女性）を安心させ、数時間・数日間・数週間の「入門セラピー」ののちに、性行為の相手（男性や同性愛女性）のいる「正式セラピー」用の別の部屋や施設に移動・宿泊させる手法が最多です。最終的には、女性客の脳が「自ら望んでセラピーを受けている」と自覚してしまう点が特徴で、団体側の幹部となって次の「セラピー」の指導役に回るケースもあります。こうなると、女現研もそのような女性を被害女性と見ることはできなくなります。

一方、共感覚ビジネスを展開している暴力団・準暴力団はほとんど存在しません。

とりわけ、セラピーに参加しようとする女子学生・生徒からのご相談には、必ず警告を発し、危険情報を提供しております。

まるで物語のような女性の現実に寄せて

初版：2004年4月21日 最終更新：2019年10月14日

～ 著者 ～

◆女性現実研究所 代表スタッフ（代表ウォッチャー、男女）

～ 編者（女性からのご相談、ご投稿、情報提供の受付および本著の編集） ～

◆女性現実研究所 幹部女性スタッフ（幹部女性ウォッチャー）一同

～ ご協力者（代表および幹部女性スタッフ一同より厚く御礼申し上げます） ～

◆女性現実研究所 一般女性スタッフ（一般女性ウォッチャー）の皆様  
（社会人女性スタッフ、主婦スタッフ、女子大学生スタッフ、女子高校生スタッフ）

◆女性現実研究所にご相談、ご投稿、情報提供して下さった全ての女性の皆様  
（本著では、女性ご本人から公表のご希望やご許可を頂いた事例のみを取り上げておりますが、全ての女性にメール返信や面談などの個別対応を行っております。）

目次

1. 共感覚セラピー等における性被害、洗脳・マインドコントロール被害のご相談、  
および女現研における対応の例  
(これらのほか、最高代表・岩崎のIJCW第六十九巻もご覧下さい。)
  - 1) 女性からのご相談例 1  
【対応の内容】
  - 2) 女性からのご相談例 2  
【対応の内容】
  - 3) 女性からのご相談例 3  
【対応の内容】
  - 4) 女性からのご相談例 4  
【対応の内容】
  - 5) 女性からのご相談例 5  
【対応の内容】
  - 6) 女性からのご相談例 6  
【対応の内容】
2. 共感覚セラピー等の実態
3. 日本共感覚研究会の一部機能の女現研への移管について

## 1. 共感覚セラピー等における性被害、洗脳・マインドコントロール被害のご相談、および女現研における対応の例

(これらのほか、最高代表・岩崎のIJCW 第六十九巻もご覧下さい。)

### 1) 女性からのご相談例 1

「岩崎純一さまがせつかく共感覚のご本を出されて以来、皮肉にもそれが利用されて、共感覚セラピーなるものが世の中に増えている、その代表者のほとんどが女性になっています。

岩崎さまのご本の内容(学問的)とセラピストが言っていること(共感覚オーラで幸せになる、超能力・霊能力が得られる、人を操ることができる、お金持ちになれる、権力が得られる、異性にモテる、浮気・不倫できるなど)がまったく違うものなので、セラピストたちが岩崎さまの学問的な共感覚論にお墨付きを得たかのように、岩崎さまを利用しただけだとわかりました。

だから私は、岩崎さまがこれらのセラピーの主催側にかかわっていないと信じられますが、これから共感覚を大学の卒論や院での研究テーマにしていきたいと考えており、本当の共感覚と超能力との違いがわかっていない両親や担当教授や友人からは、ヘンな宗教にハマったと思われぬか、とても不安です。

何人かのセラピストは、岩崎さまから影響を受けた、岩崎さまからもお墨付きや協賛を得ている、岩崎さまの考えと自身の考えが同じだ、などと述べており、ウソだとはわかっていても、気分が暗くなります。

あと、類グループという教団内にたくさんある変態的な女性集団が、共感覚で人のオーラが見える透視能力があると主張したり、性的な集団儀式をしていて気持ち悪いのですが、その女性たちも、「るいネット」という教団の宣伝サイトに岩崎さまの文章を大量に盗用・転載して、自分たちの教義に似ているなどと述べていました。

このような状況で、共感覚を一人で扱うのは不安という気持ちがあり、単なる愚痴ですが、聞いていただきたいと思いました。」

#### 【対応の内容】

女現研の最高代表である岩崎は、これまでに共感覚セラピー等を主催・共催・協賛したり、これらに関係したりしたことは一度もないこと、また、他の女現研スタッフ(ウォッチャー)についても同様であること、共感覚を論文・研究のテーマとすることには大いに意義があることを、この女性に伝え、共感覚について多々議論を行った。

また、類グループについては、岩崎自身や上記のような情報提供者の女性たち、女現研のウォッチャーたちの活動により、岩崎も女現研も事態を把握しており、主に性産業・性団体コホートにて解説している。著作者・著作権者である岩崎の氏名および典拠が記載さ

れている場合であっても、判例が示す引用の必要条件（明瞭区別性や主従関係）を満たしていないため、著作権法違反であることに変わりはない。

## 2) 女性からのご相談例 2

「本来はきちんと読むべきだった岩崎純一さんの共感覚についての本を、軽はずみな気持ちで読んで、共感覚の世界に（勘違いして）憧れてしまった者です。

あるとき共感覚セラピーや共感覚エステというものを開催している女性セラピストやエステティシャンがいることを知り、参加しました。ちょうどその頃は、人生に悩んでおり、岩崎さんの本の学問的な内容を流し読みしてしまい、共感覚とは幸せな人生を送るための霊的能力、オーラ感覚だと誤解してしまいました。

そのセラピーやエステでは、性的なセラピーやエステもあり、岩崎さんがお書きの本当の共感覚とはまったく異なるものが行われていたため、死にものぐるいで逃げ出してきました。そのセラピストやエステティシャンも岩崎氏の本は読んだ、岩崎氏は私たち共感覚セラピストやエステティシャンの性的心理を突いている、と言っていて、わたしがうっかり信用してしまったことも原因です。

わたしは今、自分の体が汚いのではないかという不安や後悔の気持ちでいっぱい、岩崎さんの女性への共感覚を読み間違ったわたしがいけないことはわかっていますが、このようなわたしでもお話を聞いていただけないかと思い、連絡を取らせていただきました。よろしく願いいたします。」

### 【対応の内容】

岩崎および女現研スタッフ（ウォッチャー）は当該セラピストを把握しており、監視体制を強化し、被害女性と共に保健所、警察などに相談・通告。

## 3) 女性からのご相談例 3

「共感覚セラピストの先生に学び、共感的なスピリチュアル能力を身につけ、女性として幸せになりたいと思い、セラピーに参加しました。最初のうちは、色や音を見たり聞いたりするレッスンだったのですが、途中で“あなたは見込みがあるから、奥の特別な部屋で行われる共感覚エステに案内する”と言われ、嬉しくなつてついていったところ、霊的ステージの高いとされる男性・女性との性行為が待っていました。“全部はできない”と必死で抵抗しましたが、一部は実行してしまい、霊的ステージが半分だけ上がったと言われました。

共感覚というものがまったく違うものだと思った今、もう遅いのですが、女現研の女性のみなさまや岩崎先生に、どうか助けていただければと思っています。どうかよろしくお

願います。」

**【対応の内容】**

岩崎および女現研スタッフ（ウォッチャー）は当該セラピストを把握しており、監視体制を強化し、被害女性と共に保健所、警察などに相談・通告。

**4) 女性からのご相談例 4**

「女現研様。共感覚でカラーセラピーをやっていると自称している〇〇〇〇という女性を監視・告発していただけないでしょうか。この女性は、セラピーを受講した女性たちをアダルトビデオや売春にあっせんしています。共感覚という言葉が悪用しているだけの性ビジネスです。

**【対応の内容】**

岩崎および女現研スタッフ（ウォッチャー）は当該セラピストを新規に把握し、該当するアダルトビデオ数本を発見。監視体制を強化し、被害女性と共に保健所、警察などに相談・通告。

**5) 女性からのご相談例 5**

「共感覚やアロマで女性が幸せになるとかいう自己啓発セミナーに参加したところ、なぜか服を脱ぐ必要があり、共感覚的媚薬だとかいう物質を性的なところに塗られたり垂らされたりしました。ただ、わたしは、霊的世界と交信するには共感覚による性感が足りないので、もう帰っていいと言われました。

おかしいと気づいたのは、服を脱いだずっとあとの時間でした。それまでは、いわゆる女性のヌードヨガやスパのような雰囲気、おかしいとは感じなかったからです。それでも、わたしは自分の人を見る目のなさにショックを受けており、誰か話し相手、相談相手がほしいと思っています。

その先生によると、先生は岩崎さんの本を読んでおり、共感覚系スピリチュアリストの女性はたいてい岩崎さんの本に賛同していて、岩崎さんからも賛同を得ている、とも述べていましたが（今となってはウソとわかります）、岩崎さんの本の内容は真逆のことを言っている気がしますし、共感覚スピリチュアルは信用するに値しないと明記してあります。

よろしければ、岩崎さんや岩崎さんのスタッフの女性の方々は、どうやって20年も本物の共感覚を研究し、ニセの共感覚にひっかからず見分けることができているのか、そんな方法はないのかもしれませんが、何かアドバイスをいただけないでしょうか。」

### 【対応の内容】

岩崎および女現研スタッフ（ウォッチャー）は当該セラピストを把握しており、監視体制を強化し、被害女性と共に保健所、警察などに相談・通告。

### 6) 女性からのご相談例 6

「精神的に病んでいる時期、いろいろな人の話を聞きたいと思い、共感覚で人の心をシンクロさせるミッションのようなものを行っている会場に行きました。私の場合、手相がオレンジ色でこのままだと不幸になる、体からいい音楽が聞こえてこない、と言われ、いい音楽を奏でる体にするために、目の前にいる男性の誰かとセックスしないとイケないと言われました。

そのあとの記憶がなく、気づいたら自宅にいたのですが、これはどういうことでしょうか。この出来事の報告は、夢ではなく、現実起きたことで間違いないです。信じていただけなら、お返事をいただけないでしょうか。」

### 【対応の内容】

岩崎および女現研スタッフ（ウォッチャー）は当該セラピストを把握しており、監視体制を強化し、被害女性と共に保健所、警察などに相談・通告。また、この女性が解離性遁走や感覚脱失を発症したと推測し、医師に相談。女性は同名の診断を受ける。

## 2. 共感覚セラピー等の実態

共感覚セラピー等における性被害、洗脳、マインドコントロール問題は、女現研が最も迅速に対応可能な分野の一つです。未然の性被害防止の件数も最多となっております。

「共感覚セラピー」、「共感覚ヒーリング」、「共感覚カウンセリング」、「共感覚エステ」、「共感覚シンクロニシティ」などの施術名称を使用し、共感覚による施術や共感覚の伝授などを謳って（共感覚を有するかのよう装って）共感覚ビジネスを展開している団体や個人（ほとんどがセラピスト、スピリチュアリスト、カウンセラー、エステティシャンなどの女性組織）の少なくとも4割が、主に性産業・性団体コホートにて解説している宗教団体、ニューエイジ思想団体、超常現象信仰団体、極左共産主義団体、極右思想団体（ヤマギシ会、摂理、ラエリアン・ムーブメント、類グループ、サイエントロジー、幸福の科学など）、詐欺・霊感商法・ぼったくり集団、違法薬物使用集団、性行為集団、（準）強制性交・（準）強制わいせつ等実行集団、違法アダルトビデオメーカーやその出演への勧誘団体、売春斡旋業者、児童ポルノ製造・販売業者等（教祖、経営者などトップのほとんどは男性で、気功師、医師、教員なども含まれる）のフロントサークル、またはそれらのフロント女性（広

告塔)のいずれかです。

実際は性行為の実施やオーガズムの伝授であるものを「共感覚セラピー」などと偽って女性客(被害女性)を安心させ、数時間・数日間・数週間の「入門セラピー」ののちに、性行為の相手(男性や同性愛女性)のいる「正式セラピー」用の別の部屋や施設に移動・宿泊させる手法が最多です。最終的には、女性客の脳が「自ら望んでセラピーを受けている」と自覚してしまう点が特徴で、団体側の幹部となって次の「セラピー」の指導役に回るケースもあります。こうなると、女現研もそのような女性を被害女性と見ることはできなくなります。

一方、共感覚ビジネスを展開している暴力団・準暴力団はほとんど存在しません。

とりわけ、セラピーに参加しようとする女子学生・生徒からのご相談には、必ず警告を発し、危険情報を提供しております。

### 3. 日本共感覚研究会の一部機能の女現研への移管について

女現研の最高代表・岩崎が主宰していた、共感覚をめぐる社会問題の追跡調査サークル「日本共感覚研究会(旧・日本共感覚関連動向調査会)」は、現在は岩崎純一学術研究所(IJAI)の内部に分散して組み込まれております(IJCW 第五十五巻、五十八巻、六十巻、六十九巻)。

さらにそのうち、女性の性に関する問題(共感覚セラピーにおける性被害など)への実質的対応は、私たち女現研に移管されております。但し、その資料(旧研究会の資料を含む)の大部分は、現在も IJCW 本体に収録されております。とりわけ、次の下方の資料では、危険性の高い共感覚セラピーなどを掲載しておりますので、参照されることをお勧めします。

IJCW

第五十五巻

- 「麻薬・覚醒剤・危険ドラッグ・指定薬物等による共感覚の出現の知見の有無と当該薬物の国際条約及び世界各国・日本国の法令等における扱いとの対応表」

第五十八巻

- 「産学官民による「共感覚・知覚・感性」関連事業の 2020 年東京オリンピック・パラリンピック利権化に対する注視

第六十巻

- 日本共感覚研究会の全般的解説
  - ▲注意▲ 現在、共感覚で女性のオーラを見ると偽って実際は性行為などを強要する男

性セラピストや男性気功師の施術会場に潜入する罠（おとり）調査など、危険性の高い調査は、男性（最高代表または被害女性の親族男性）のみが行っております。

#### 第六十九巻

- ご質問・ご相談や通報の例
- 「優良な共感覚研究を実施していると認められる日本国内の研究機関・研究者等に関する最新報告書」
- ▲要注意▲（■別提供のイエローリストに吸収・継承）  
「共感覚の学術的定義を逸脱または拡大解釈した事業を展開する日本国内の団体・個人事業主等に関する最新報告書」
- ▲危険▲（■別提供のレッドリストに吸収・継承）  
「共感覚の学術的定義を著しく逸脱した事業を展開する日本国内の団体・個人事業主等に関する最新報告書」
- ▲極めて危険▲（■別提供のブラックリストに吸収・継承）  
「活動内容が懸念される共感覚関連セラピー等の名称例の一覧」